

夏目 泰秀 氏（株式会社デジタルグロースアカデミア）

人材募集概要

- 長野県内 DXの推進・加速化に対する助言
- 県組織におけるデジタル人材育成に関する検討などに取り組んでいただける方

期待する役割

民間企業におけるデジタル人材育成の経験をもとに、長野県職員のデジタルリテラシー・スキルの向上にあたっての助言・検討

3月までに目指したもの

- 「DXエバンジェリスト」の活動に向けた機運醸成
- 長野県職員のデジタルリテラシー・スキルの向上に向けた取組の方向性の整理



【プロフィール】

- 愛知県の三河地方出身
高校卒業後生活拠点が関東に移る
- システムエンジニア、コンサルタント、データサイエンティストを経験し、(株)チェンジ（現チェンジHD）に参画
デジタル人材育成を担う
- 大手通信会社 DX人材育成のPM/講師を担当
- 趣味は読書、耳で読むオーディオブックが中心
- 目が大きいので名前と顔はすぐに覚えてもらえる
- 昨年夏の家族旅行は長野を満喫
（旅のKeyword:お血脈、忍者、雲海、ビーナス）

初回面談時にこんな質問をいただきました。

**民間企業のDX人材育成と
自治体のDX人材育成はどう違いますか？**

**違いはありません。
業務内容やミッションは違いますが、
目指すDX人材の基礎スキルは同じです。**

→一貫してこの考えに従って活動させていただきました

活動実績（「DXエバンジェリスト」向けマインドセット）

取組実績

「DX推進のための“かえる”行動」と題して
DXエバンジェリスト※のマインドセットを目的とした講演を実施

→その後、74人が各所属で“伝道師”として活躍

contents

- オープニング講演
“長野県共創推進パートナー”※の夏目氏から、DX推進に当たってのマインドセットをしていただきます。

 長野県DX推進プロデューサー
夏目 泰秀 氏
(なつめ やすひで)
株式会社デジタルグロスアカデミア
デジタル人材育成サービスユニット
シニアマネジャー

※ 夏目氏の略歴や、“長野県共創推進パートナー”については[こちら](#)

- 永野DX推進課長挨拶
- 今後の進め方
- etc.

1.自治体DXの中で求められていることは？

2. DXエバンジェリストの役割とは？

3. デジタルDX推進の課題とは？

全体まとめ

質問がある方はチャット

DX推進課 / DX Promotion Div.

※DXエバンジェリスト

組織風土改革プロジェクト「かえるプロジェクト」の論点の1つである「“しごと”改革（業務効率化）」の実現に向けて、デジタルツールを用いて、職員間のコミュニケーションを活性化させながら業務の効率化を図る新しい働き方を全庁に浸透させるため、各職場で普及活動に取り組む伝道師（エバンジェリスト…普及、啓蒙活動を行う人のこと。伝道師、伝道者の意。）

自治体/地域におけるデジタル活用とは

- 現状の改善にとどまることなく、
- デジタルによる県民の判断/意思決定を先回りして理解し
- あらたな価値の創出、地域のビジネスの後押しをする

（私が考える）DX推進のための「かえる行動」とは

- 将来を見越し、真の県民の利となるための視点にかえる
- 周りのメンバをデータ利活用人材にかえる
- スキルアップして自分自身をかえる



活動実績（長野県デジタル人材育成に向けた検討）

取組実績

長野県職員のデジタル人材育成に向けた取組の方向性を整理

<取組の背景>

- デジタル人材は官民ともに不足傾向が続く
- 複雑・多様化する行政課題に対応する上で、地方公共団体におけるデジタル人材育成・確保の重要性が従前にも増して高まっている。
- 「人材育成・確保基本方針策定指針に係る報告書」（R5.9 総務省「ポスト・コロナ期の地方公務員のあり方に関する研究会」）※においてもデジタル人材の育成・確保が重要なポイントとしてあげられている
※ 総務省は本報告書を踏まえ、各地方公共団体が基本方針を改正等する際の新たな指針として、R5.12に「人材育成・確保基本方針策定指針」を策定
- 長野県でも、これまで実施してきたデジタル関係の研修等を整理し、かえるプロジェクトの提言である「業務効率化」や「しあわせ信州創造プラン3.0」、「長野県DX戦略」の取組を担う職員のデジタルリテラシー・スキルを向上を図っていく必要

<活動手順>

現状整理・課題確認

整理する項目の確認

背景・目的の設定

職員の役割等の整理

必要スキル定義

評価方法の検討



7/25～2/29までに、合計15回の定例会を実施

DX推進課の皆様と一緒に
丁寧に、想いを持って
纏めました！

来年度からDX推進課が実施する研修等で活用

(参考) デジタル人材育成に向けたポイント

1. 「デジタルスキル標準ver1.1」を“自治体職員のスキルマップ”として活用

全ビジネスパーソンが身に付けるべきリテラシー・スキルを定めた「デジタルスキル標準ver1.1」（経産省/IPA※）を、“自治体職員のスキルマップ”として活用していく（都道府県初）
（※IPA：独立行政法人情報処理推進機構）

2. 育成評価のための「アセスメントシート」を作成し、データに基づいた研修等を検討

職員のデジタル知識・スキル水準を可視化し、強化すべきスキルの把握及びスキル向上の取組を検討するため、定期的に育成状況の評価を実施していく必要

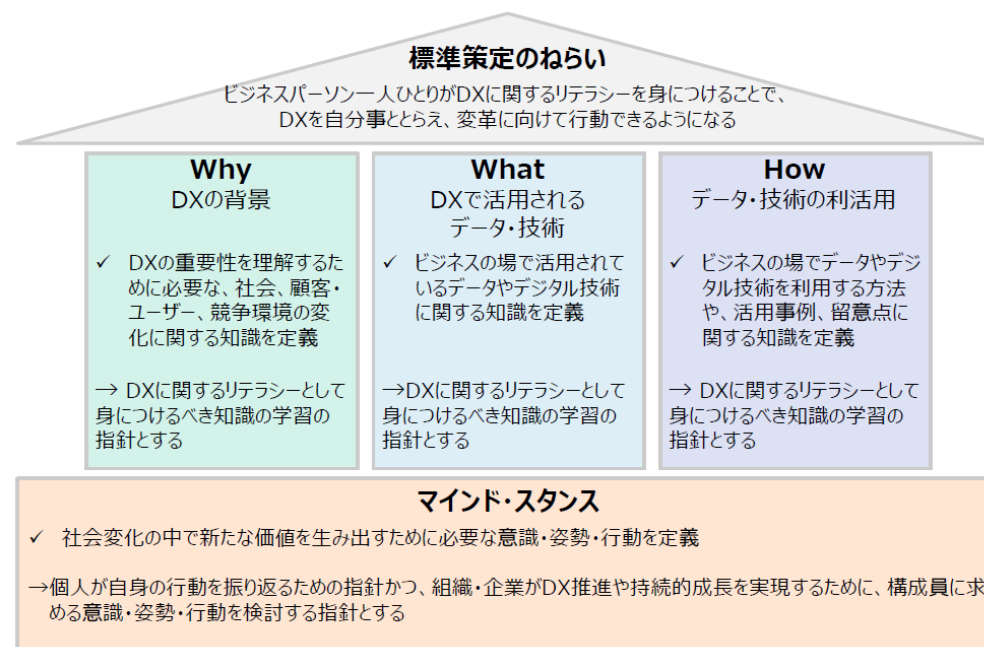
3. 「長野県職員育成基本方針」の職員像をデジタルの視点から整理

「長野県職員育成基本方針」における職員像

外部環境の変化を自ら分析し、自律的に行動する職員

- 求められるデジタルスキルを身につける
- デジタル技術の進展等の外部環境の変化に気づく
- 改善に向けて自律的に行動をする

職員一人ひとりが自律的・主体的にDXに取り組み、各部署においてDXを実現していくことを目指す必要



DXリテラシー標準の全体像（デジタルスキル標準より）

分類	アセスメント項目
マインド・スタンス	勘や経験のみではなく、客観的な事実やデータに基づいて、物事を見たり、判断をしている
Why	人々の暮らしをよりよくし、社会課題を解決するためにデータやデジタル技術の活用が有用であることを知っている
What	データには様々な種類があり、許可を得て集められ、社会で活用されていることを知っている
How	日常業務で利用するデジタルツール（メール、チャット、Word、Excel、PowerPointなど）については利用方法を理解しており、正しく活用できる

「アセスメントシート」項目例（「デジタルスキル標準ver1.1」をもとに作成）

活動実績

効果・成果・課題

効果、成果

- 民間企業でのDX人材育成の講師経験をもとに、DXの背景や自治体におけるDXの必要性をインプットしていただくことで、**DXエバンジェリストの機運を高めることができ、その後の活動の充実につながった**
- デジタル人材に必要なリテラシー・スキルに関する最新情報や考え方を的確に提供していただくことで、**経産省/IPAの「デジタルスキル標準」を自治体のデジタル人材育成の視点として整理することができた**

今後の課題

- **本格的な人材育成、評価はこれから**
→育成は最も時間がかかる改革。
今後、庁内での議論を深め方針としてまとめるなど、取組の充実を図っていく
- **育成評価に基づいたアクションもこれから**
→研修の実施は初めの一步。アセスメントをもとにデータを集め改善していく
- **DX推進に向けて、デジタルをもっと身近に**
→育成を通して、「施策・業務の知識×デジタル」という人材増やしていく

DXエバンジェリストへの講演



打合せの様子



オンライン化インテグレーター 【DX推進課】

片岡 裕 氏（株式会社 WIL Consulting代表取締役）

人材募集概要

行政手続のオンライン化に向けた具体的手法（BPR※）に関して専門的な助言ができる方
（※Business Process Re-engineering）

期待する役割

- ・ 行政手続のオンライン化に関する機運の醸成
- ・ 業務プロセスの洗い出し、オンライン化の支障事由に関するヒアリング、改善案の検討等のファシリテーション
- ・ BPRに関するワークショップの運営方法等の知見の共有

3月までに目指したもの

オンライン決済の導入事例の創出 3件程度

従来、収入証紙の貼付による手数料の納付がオンライン化の支障となっていた行政手続について、ながの電子申請サービスのオンライン決済機能（R6.2改修）の導入によりオンライン化を実現



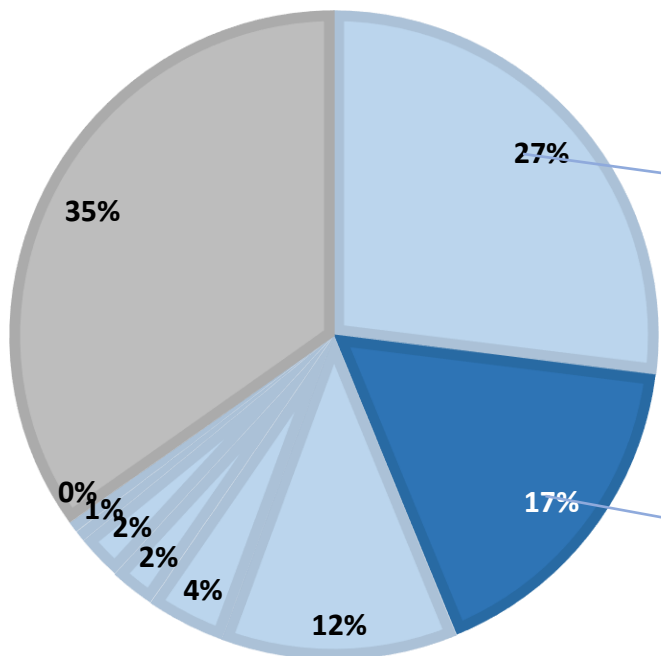
【プロフィール】

人材開発&営業開発&キャリア開発のコンサルティング会社を経営。前職のキヤノンマーケティングジャパン株式会社での社内コンサルティングの経験からあらゆる業務をプロセスの視覚化から始め実務の人々の合意形成を促しながら業務プロセス改善（シンプル化）をしていくことを得意とする。

専門領域は、BPR（ビジネスプロセスリエンジニアリング）を実践する伴走ファシリテーション、BPR実践後 DXによる業務改革など。

オンライン化の支障事由の状況 (部局ヒアリング結果)

※県民向け・年間100件以上の手続について



- 県機関以外を経由する
- 証紙・手数料等が必要である
- 添付書類に原本等がある
- 県は受理しない
- 本人確認が必要である
- 事務の廃止・移管済(予定)
- 対面(書面)が規定されている
- その他

→R5年度は、証紙・手数料等の納付が必要な手続について、重点的に取組み

支障Top1

■ 県機関以外を経由する

- ✓ 手続所管部局における主体的な検討が適当
(各機関との関係性を踏まえたオンライン化が必須)

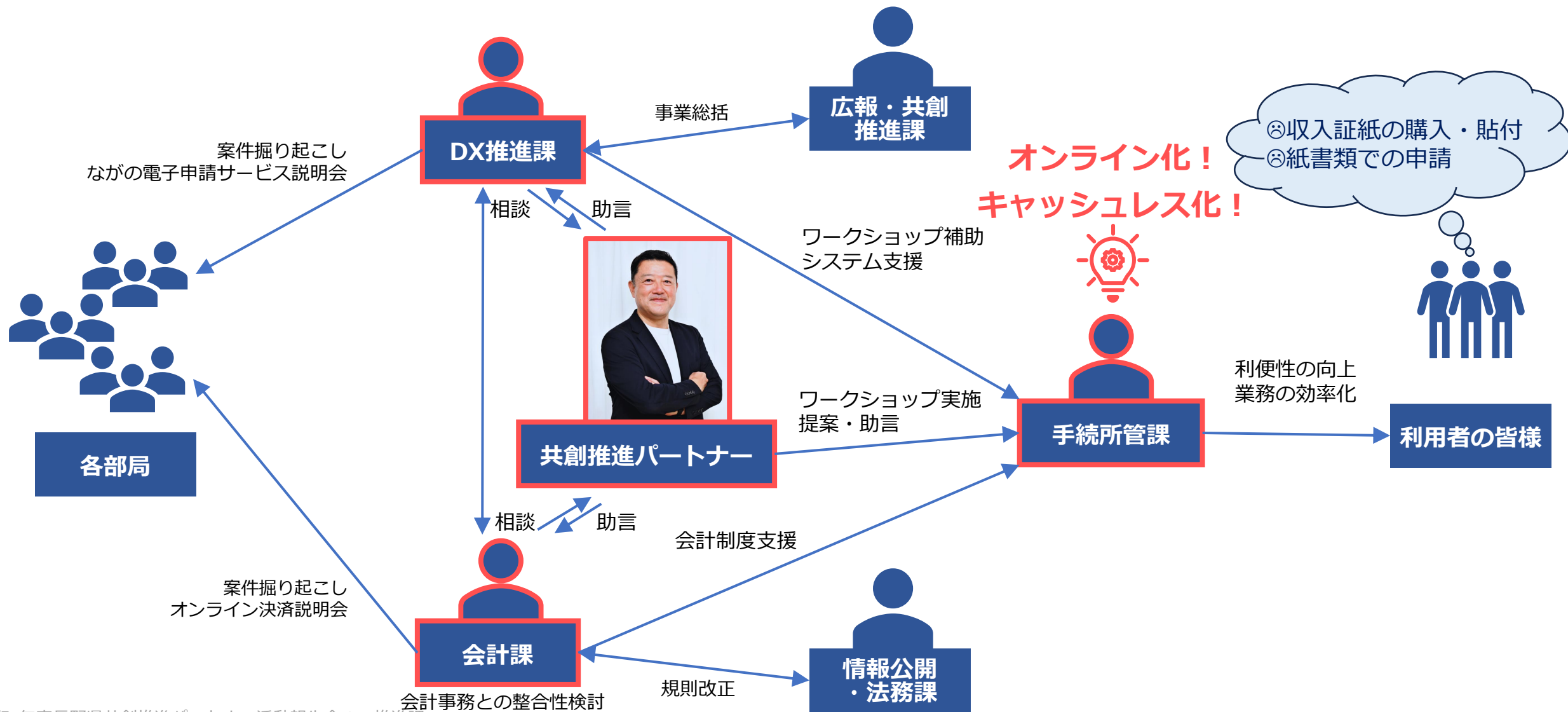
支障Top2

■ 証紙・手数料等が必要である

- ✓ ながの電子申請サービスの改修により対応可能
(オンライン決済機能の導入)
- ✓ 部局を越えた横展開が可能
(汎用的なシステム(ながの電子申請サービス)を使用)

推進体制

→関係課と連携し、プロジェクト型の体制で手続所管課を伴走支援



→BPRワークショップの開催（4回・5部局25人参加）

9.7 第1回BPRワークショップ
（山岳高原観光課）

10.10 オンライン決済に関する部局向け説明会及び意向調査

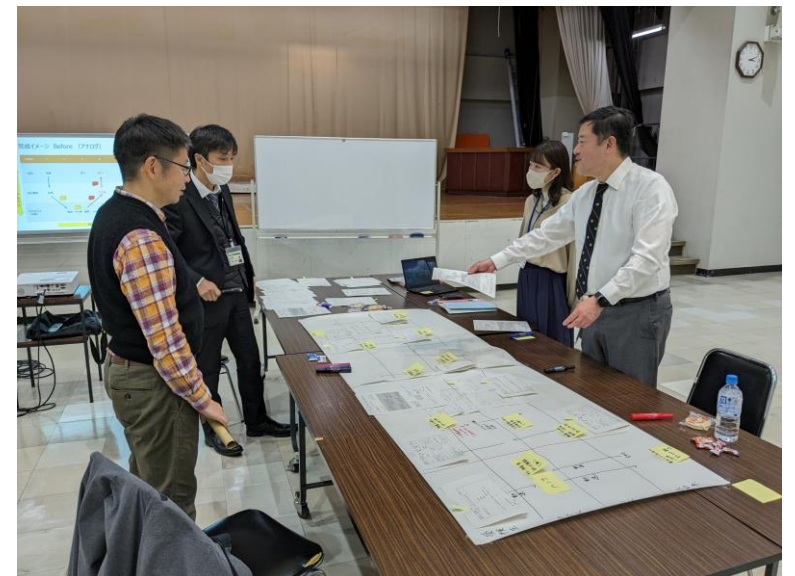
10.27 第2回BPRワークショップ
（税務課、高校教育課）

11.16 第3回BPRワークショップ
（工業技術総合センター、高校教育課）

11.28 第4回BPRワークショップ
（工科短期大学校、生活排水課）

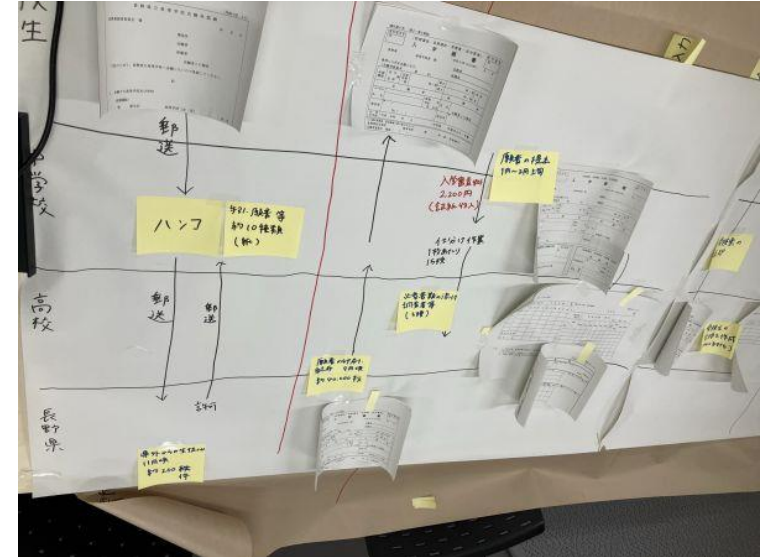
12.14 オンライン決済機能操作説明会

※上記のほか、オンライン打合せを随時実施し、関係課に助言



BPRワークショップの様子

→共創推進パートナーの知見を活かし、議論を活性化



①片岡氏による基調講演

- ・行政手続のオンライン化の意義
- ・民間企業の実組状況の紹介
- ・ワークショップの進め方の説明

参加者のモチベーションを醸成

②検討

- ・現状の業務フローの確認
- ・どうすればオンライン化できるかの検討
- ・改善したい点の洗い出し

外部の目線からの意見・疑問点が見直し案のきっかけとなることも。

③業務プロセスの見直し

(例)

- ・添付書類の電子化・省略
- ・処理時間の短縮
- ・繁忙期の平準化

実際の書類や付箋を使用した直感的な手法が議論を活性化

活動実績

成果

■ 9 手続 (※) にオンライン決済を導入

ながの電子申請サービスを使用して手続を行うことで、収入証紙の貼付に代え、クレジットカード、Pay-easy、Paypayによりキャッシュレスで手数料を納付することが可能となった。

なお、収入証紙により納付することも引き続き可能

(※) 信州登山案内人更新登録申請、
工科短期大学校成績証明等手数料、
技能検定合格証明書交付手数料 等

■ ワークショップ参加職員のファシリテーションスキル向上

■ オンライン化・業務プロセス見直しの機運醸成

今後の展開

■ 全庁的な横展開

(好事例の共有、支障事由に関するヒアリングの継続的な実施)

■ 年間の処理件数が多い手続について重点的に取組

(より多くの方がオンライン化のメリットを受けられるように対象を拡大)

■ よりメリットの大きな手法を引き続き研究

(国による全国的なシステム整備等の動向を踏まえ、対応)



手続き一覧

2024年02月09日 12時45分 現在

並び替え 表示数変更

1

信州登山案内人登録 (更新) 申請

電子決済必要

受付開始日時 2024年02月05日08時30分
受付終了日時 随時

信州登山案内人登録証再交付申請

電子決済必要

受付開始日時 2024年02月05日08時30分
受付終了日時 随時

BPRワークショップ参加者の声



■ 会計局 宮原 会計管理者

片岡様には、収入証紙に代わる電子決済の導入を重点にご助言いただきました。会計局にとって長年の課題ですが、電子決済を導入するには、単に電子申請のハードを整えるだけでなく、各業務ごとに一連の申請手続の見直しが必要になります。

第2回のワークショップに参加させていただいたところ、片岡様には、キャノンマーケティングジャパン株式会社でのご経験を踏まえて、ビジネスプロセス見直しの必要性とポイントをお話いただいた上で、現状の手続をどう整理し、どんな視点で切り込めばいいか、和気あいあいとした雰囲気の中で、しかし鋭くご指導いただきました。

ワークショップの手法自体も共有していただき、次第に職員同士で検討を深めていけるように導いてくださったのが印象に残っています。今後より多くの申請手続きで導入できるよう、関係各課にBPRとセットで電子決済の活用を働きかけていく必要があると感じています。

■ 観光部 山岳高原観光課

人員も限られ、多忙な中、業務の見直しについて考える時間を取ることが難しい状況でした。ワークショップでは普段とは違う視点からの意見もいただき、充実した検討ができました。

行政は依然として紙を前提とした業務が多く、「信州登山案内人制度」もその一つでした。ワークショップで業務フローの見直しを図り、その結果、令和6年2月から①**各種手続のオンライン化（電子申請）**、②**手数料の支払いへのオンライン決済の導入**が行われ、より簡便に手続きをしていただけるようになりました。

より多くの方に信州登山案内人の制度を利用いただき、さらなる本県の山岳の魅力発信に繋がることを期待します。



あこがれの
信州の山へ。

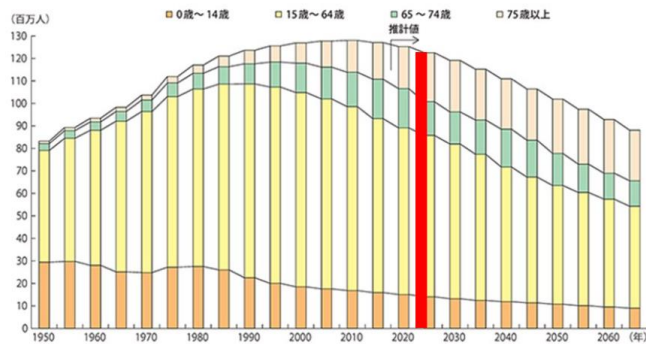
二期一会の山旅を
お手伝いします。

取り組ませて頂いたこと ①

危機感の醸成

日本の人口統計（高齢化と人口減少）

第2-1-9図 年齢別人口推計の推移



気候変動による災害

- VUCA（不確実性、複雑性、不均衡、曖昧性）

1. 台風：高い風速と大雨をもたらす。
2. 豪雨：短期間に非常に多量の雨が降る。
3. 熱波：連日の高温が続く。
4. 冷夏・寒冬：季節外れの低温が続く。
5. 地震・津波：気候変動が地殻を不安定にする。



■ 企業が取るべき対策

1. リスクアセスメント：気候変動の影響を事業に与える
2. サプライチェーンの見直し：災害に強いサプライチェーンの構築
3. ビジネスコンティニュイティプラン（BCP）の策定：災害時の事業継続

■ 政府との協力

1. 災害情報の共有：官公庁が提供する最新の災害情報
2. 補助金・税制優遇：気候変動対策に投資する際

DX化のメリット ③危機管理

- 災害時データで情報を保管可能（紙書類だと破損の恐れあり）
- BCP対策（県庁業務をリモートで継続可能）
- 災害復旧に県庁職員が対応可能（通常業務のDX化）



気候変動による災害

- VUCA（不確実性、複雑性、不均衡、曖昧性）

1. 台風：高い風速と大雨をもたらす。
2. 豪雨：短期間に非常に多量の雨が降る。
3. 熱波：連日の高温が続く。
4. 冷夏・寒冬：季節外れの低温が続く。
5. 地震・津波：気候変動が地殻を不安定にする。



■ 企業が取るべき対策

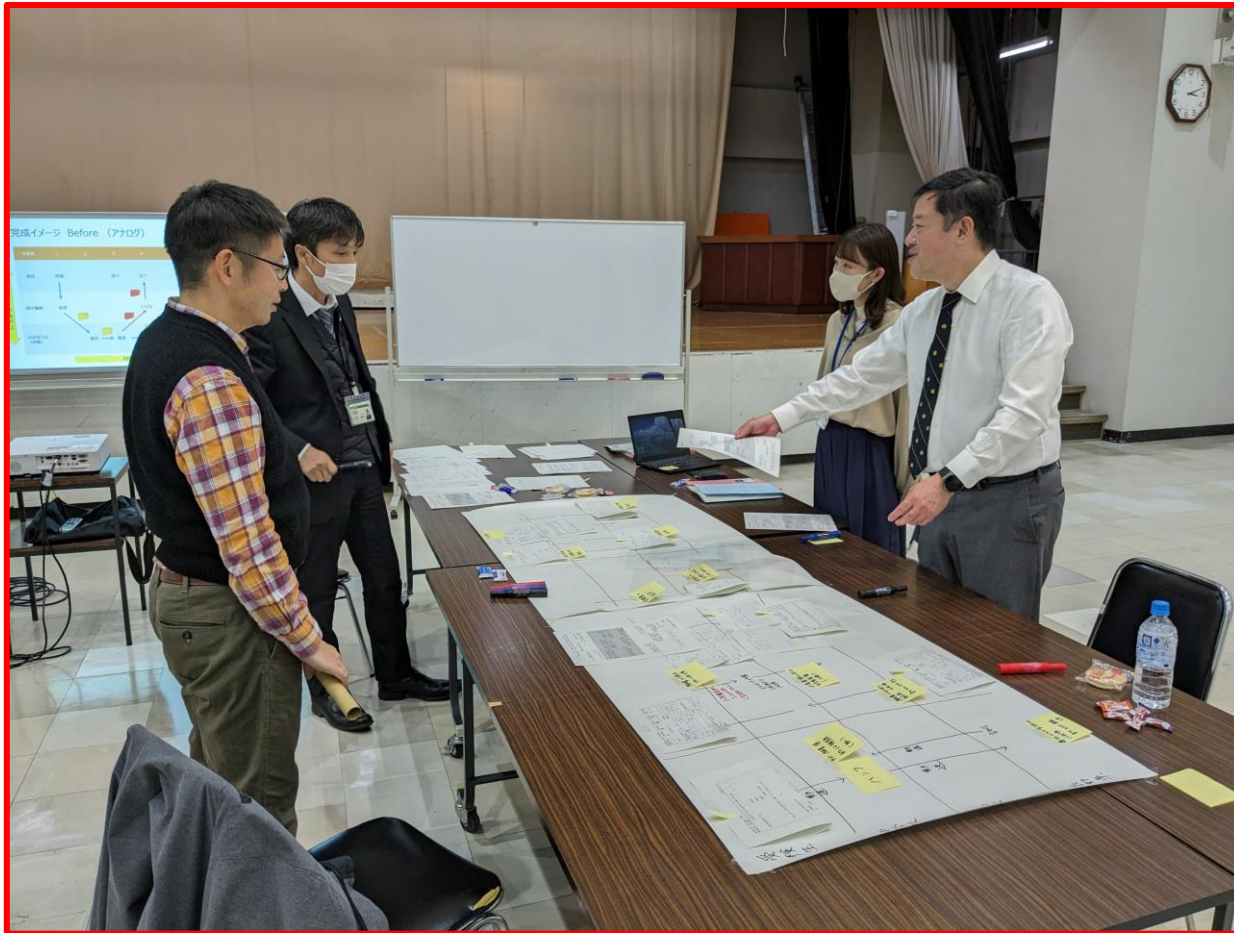
1. リスクアセスメント：気候変動の影響を事業に与えるか評価。
2. サプライチェーンの見直し：災害に強いサプライチェーンの構築。
3. ビジネスコンティニュイティプラン（BCP）の策定：
災害時の事業継続計画。

■ 政府との協力

1. 災害情報の共有：官公庁が提供する最新の災害情報を活用。
2. 補助金・税制優遇：気候変動対策に投資する際の支援。

取り組ませて頂いたこと ③

全員対話による検討
どうしたらよくなるかを重視



活動の振り返りとして

□令和6年2月からスタートできるプロセス **9件**

参加者の皆様の**当事者意識**の高さを痛感

□**プロセス志向**の理解者の増加中

この手法を職場で実践することで**改善風土が醸成**される

□すべての**改革は繋がっている**ことを実感

かえるプロジェクト、会計課、職員キャリア開発課との交流

ご提案 ①

✓ 災害リスク対応など優先順位の見直し



重要度が高く緊急性が低い



この仕事を増やすこと



先手を打つ仕事スタイルへ

ご提案 ②

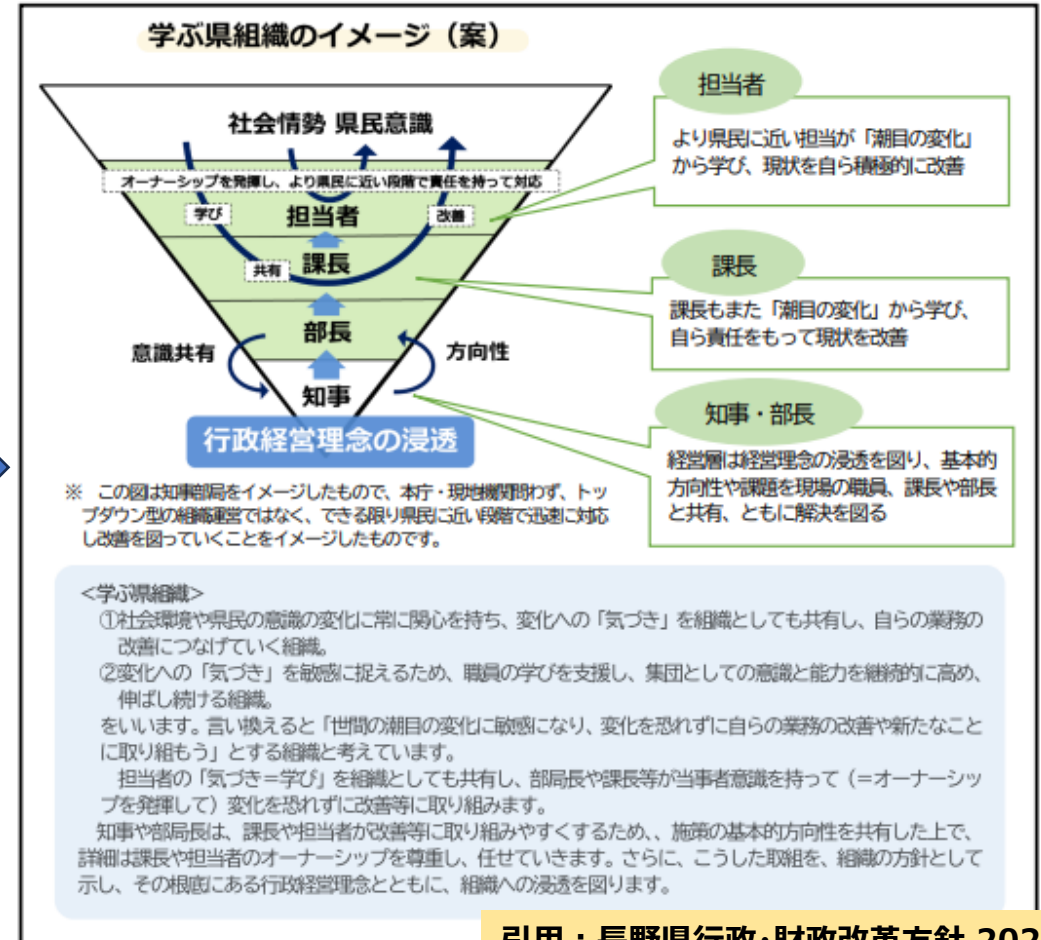
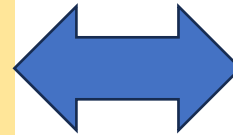
✓プロセス変革人材育成



会話 ⇒ 対話

対話 ⇒ 気づき

気づき ⇒ プロセス改善



登米 航 氏

人材募集概要

データ連携基盤活用策の企画検討・具体案の提示、及び県民生活向上に資する提案。これらに対する技術的な問題解決策の提案などにとともに取り組んでいただける方。

期待する役割

データ連携基盤の活用をどのように広げていき、どのようなサービス提供を目指すべきなのか全体像を描いてデータ連携基盤活用策の立案を実施していただく。

3月までに目指したもの

- オープンデータカタログの作成
- データ利活用に向けた検証フロー策定
- サービス提供分野候補の洗出し・注力領域の決定



【プロフィール】

登米 航(パーソルワークススイッチコンサルティング株式会社)
宮城県出身

AI関連企業・日系コンサルティングファームを経て現職。公共領域を中心に、新規事業立ち上げ支援・中期計画策定支援に多数従事。近年は、データサイエンティスト・コンサルタントとしての経験・知見を活かしAI・RPA技術を活用した事業・組織開発業務に従事。個人の活動として、ディープテックスタートアップや地方自治体向けに事業開発コンサルティングサービスを提供している。

活動の概要について

取組の枠組みについて

背景

- 今後、取り扱うデータの種類や分野を拡大・充実させ、より幅広い用途でデータを活用できるようにすることで、県民生活等の向上に資する様々なサービスが提供できる基盤となることを目指している。
- どのようなサービス提供が可能な状態を目指すべきなのか全体像を描けていない。
- 地域課題解決に資するデータの収集・組合せ・加工・利活用方策に係る知見、事例・ノウハウの蓄積が乏しい。

ご提案

県庁の皆様や県民の皆様がどういった点に困っているのか・どういったサービスを求めているのかを明らかにしつつ、オープンデータを活用したデータ活用方法の確立や将来に向けたデータの活用・整備について検討していくことが望ましいと考えております。

本プロジェクトで想定している取り組み

- ① 県庁・県民の方々の課題整理およびそれに対応したオープンデータ活用案の検討
- ② オープンデータ活用案の評価及び事業の検討
- ③ 将来的なオープンデータ活用像の検討

データ活用案創出に向けたアプローチ方法

データ活用案創出方法



長野県

① 県民ニーズや業務上の要望に合わせたデータ活用

県民のニーズや各課の業務上の需要に合わせる形でオープンデータの活用方法を検討していくアプローチ。
(各部署へのヒアリングやアンケート結果の活用)

② 活用可能なデータを基にしたアイディエーション

現状使えるオープンデータを整理後、アイディエーションによりオープンデータの活用アイデアをリスト化し、複数の観点で評価絞り込みを行う。
(評価案：実現性・コスト・現場における需要及び導入可能性)

③ 企業・学術機関のニーズに合わせたデータ活用

オープンデータを活用してくれる企業・学術機関を探索し、事業・システム実現のために活用してもらい、もしくは長野県のアイデアを実現してもらおう。(例：洪水予測・Urban Innovation Japan)

データ活用を推進していく上では、大きく分けて①～③に分けられるが、長野県でアイデアを実現していく上では①②を優先的に取り組んでいった。

(参考) データ活用案創出に向けたアプローチ方法

データ活用案創出方法

	需要	実現のしやすさ	データの充足
① 県民ニーズや業務上の要望に合わせたデータ活用	○ 県民や事業部でのニーズに合わせた設計	○ 対象となる業務・サービスが明らかなことが多い	△ データが足りない可能性がある
② 活用可能なデータを基にしたアイディエーション	△ 需要調査が別途必要となる	△ 県民生活向上に直結しない可能性がある	○ データが充足していることが前提

需要ベース・アイデアベースそれぞれの活用案を検討していくことにより実現の確度を挙げていくことが望ましい

作成した全体像

ゴール

アイディエーション・各施策の評価結果から、新たにデジタル化するデータを選択し、データを用いたサービスを開発することで県民生活の向上を実現する。

1

県民ニーズや
業務上の要望に
合わせたデータ活用

頻度：年1回
期間：3ヶ月

2

活用可能なデータを
基にした
アイディエーション

頻度：通年（非定型の活動）
期間：N/A

3

アイディアの
リスト化/評価
技術シーズ仮説/
ビジネスモデル仮説策定

頻度：通年
期間：1ヶ月程度

継続による
ブラッシュアップ

4

アイディアの具体化
技術フィージビリティ/
ビジネスモデル検証

頻度：毎四半期
期間：3ヶ月（×複数ターン）

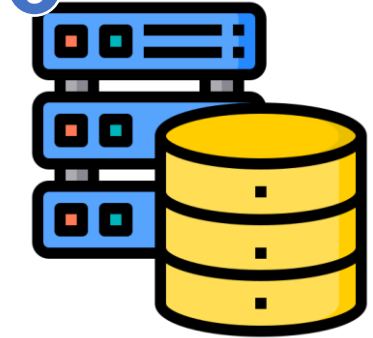
継続による
ブラッシュアップ

5

業務像の確立
出口検討

頻度：毎四半期
期間：都度

6



県民生活向上に資するサービス提供
県のデータ連携基盤への格納・
アプリケーションの構築を行う

- ・ 他部署を巻き込んでサービス拡充
- ・ EBPMによる政策評価・改善可能な環境構築

問題発見・施策案

1



しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦

「ゆたかな社会」を実現するために～

しあわせ信州創造プラン3.0をもとに 長野県内の課題を整理した。

2

表(2023.10.11)絞り込み評価軸の概要

分類	No.	着目した課題	アイデア	データ/デジタル活用案	市民(地域)ニーズ		長野県長官門	革新性	オープンデータ活用有無	URL	先行事例	データ		評価値
					長野県長官門	革新性						URL	URL	
女性・若者から選ばれるづくり	1	保育環境向上	学童保育ポータルサイト 町や市内各所の保育所や小学校内の学童クラブが提供される。施設の詳細内容や定員に空きがあるか、月々の費用はいくらかなどを知ってもらい、保護者が施設を選定する際の一助にしてほしいという。クラブの詳細まで入力があったのは2日時点で全体の約4分の1だが、随時更新している。	長野県内で公開されている定数・定性データを整理しアプリも活用して発信していく	3	2	3			https://news4shinshu.jp/article/4632112 https://www.amiurl.co.jp/news/20220405_5_0Y11150110/				
	2	保育環境向上	入しやすい保育園マップ 前年に入園が認められた家庭のうち、最も低かった点数を保育園ごとに公表している港区のデータに注目し、この点数を「ボーダーライン」として、入園の難易度を評価した。	過去の入園点数などを参考に作成する	3	1	2							
	3	保育環境向上	病後児保育を含む減速型保育サービス ふれあい親子サロン	ヘルパー登録情報などを個人情報をマスキングして公開・マッチングする。	3	1	3							
	4	保育環境向上	子育て中の母子の交流や、育児の知識・情報の提供を行い、育児不安の軽減及び育児力を高めることを目的としたふれあい親子サロン企画	過去の質問・質疑応答などを参考にアプリなどで配信する	3	2	1							
	5	保育環境向上	24時間子育て相談ホットライン これは時間帯を特定せずいつでも気軽に相談できる子育て相談開設し、問題を早期に解決することを目指す	上記質問・質疑応答結果をLINEなどのBOTで配信する	3	2	1							
	6	保育環境向上	授乳室検索アプリ 授乳室やおむつ交換台の検索ができます。他ユーザーにより口コミや室内画像も確認できます。	授乳室・その他乳児に特化した施設を保有している施設をアプリ/HP上で公開	2	2	2							
	7	保育環境向上	子育て相互援助活動を支援するため、活動の中核的役割を担うコーディネーターの養成 「子育て相互援助活動」	コーディネーターの養成・登録が簡単にできるアプリ/HPの作成	3	2	1							
	8	保育環境向上	保育園留学制度 地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる留学プログラムです。1週間から3週間子どもが保育園に通いながら家庭で滞在	保育園の受け入れ状況や留学の手続き・準備が簡単にできるアプリ/HPの開発	3	3	2							
	9	保育環境向上	子供みまもり 防犯情報のリアルタイム提供、公園などのデータを活用	公園などのデータや警察から提供された犯罪に関するデータを活用し、子供の安全を守るアプリを開発・提供する	3	2	3				https://www.a-pm.govt.nidn.a.org/example.html			
	10	教育環境向上	学区情報と不動産情報の活用 オープンデータを利用して、不動産物件情報のWebサイトで、各不動産物件が属する小中学校区の情報を提供する	県外からの移住者など向けに学区情報を提供しHPなどで情報を提供する	1	3	2							
	11	教育環境向上	給食のオープンデータを活用し、福岡市LINE公式アカウントにて、小学校給食のアレルギー原因食品(アレルギー)や献立情報も、指定した時刻に配信	給食のオープンデータを活用しLINEなどでBOTで配信する	2	2	3							
	12	教育環境向上	放課後児童等の広場(民間学童保育)施設一覧を活用した親子支援	登録されている民間学童保育施設や受け入れられる支援について検索機能の「アプリ」で公開する	3	3	2							
	13	教育環境向上	こども発達データデータの活用	子供がこども発達データを活用しやすくなる仕組みを提供する	3	3	2							
	14	教育環境向上	放課後児童クラブの児童データを活用した待機児童問題の解決	待機児童が発生していない施設の情報配信する	3	1	2							
	15	保育環境向上	保育環境向上に合意											

課題ごとにどういったDX施策が実行できるか整理した。

3

1 各事業領域での個別検討：保育関連施策

■ 事業概要

テーマ) 保育関連施策

事業内容) 保育サービスの対象となる家庭向けに育児を支援する施策を提供する

対象) 未就学児がいる家庭もしくは支援する組織

■ ターゲットニーズ-提供価値仮説-想定効果

ニーズ/期待) 未就学児がいるが外出・病気の間にサポートが必要になる
地域内で子育てに必要な世帯に情報やサービスを適切に提供する

提供価値) 生活に困った際にアクセスすることで必要な情報・サービスにタイムリーにアクセスできるようになる
子供とともに地域内で生活しやすくなる

施策想定効果) 子育て世帯の増加
出生率増加
女性の就業率/所得改善

■ 利用するデータの仮説

<サービスアイデア>
・ 学童保育ポータルサイト
・ 入しやすい保育園マップ
・ 病後児保育を含む減速型保育サービス
・ ふれあい親子サロン
・ 24時間子育て相談ホットライン
・ 子育て援助コーディネーター養成・マッチング
・ 保育園留学制度

<利用するオープンデータ仮説>
・ 保育施設などの位置情報、利用状況
・ 保育園の定数状況
・ 地域内のイベント開催状況
・ 子育て支援コーディネーター分布
・ 子育てに関するQ&Aデータ

2. 事業性評価のまとめ

対象市場

- 保育関連施策
- 教育関連施策
- ゼロカーボン
- 企業DX・IT関連
- リスキリング
- 観光客誘致

評価

- 先進事例が非常に多く、アンケート調査・QA・イベント情報など行政側で用意できるデータも多いことから取り組みを始めるのが早い。
- 保育同様先進事例が多いことから取り組みが早い。
- ゼロカーボンに関する取組は自治体も行っていることからデータは存在するが公開に関しては要確認。
- IT/デジタル関連については、全国的にプラットフォーム化の取組が進む。成熟データなどは自治体側が提供できるのではないかと。
- 企業DXの取組や人材育成の取組に関するデータを活用。
- 個人・企業の情報をマスキングした形で格納。
- データ加工などに工数が必要。
- 観光地情報・交通インフラ情報などを格納。
- インバウンド需要は非常に高い。
- 位置情報などは企業との連携が必要。

DX施策の評価を行い実行の優先順位をつける。

注力領域仮説

対象市場	評価
1 保育関連施策	<ul style="list-style-type: none"> 先進事例が非常に多く、アンケート調査・QA・イベント情報など行政側で用意できるデータも多いことから取り組みを始めやすい。
2 教育関連施策	<ul style="list-style-type: none"> 保育同様先進事例が多いことから取り組みは始めやすい。
3 ゼロカーボン	<ul style="list-style-type: none"> ゼロカーボンに関する取組は自治体も行っていることからデータは存在するが公開に関しては要確認。 クレジット関連については、全国的にプラットフォーム化の取組が進む。点群データなどは自治体側が提供できるのではないかと。
4 企業DX・IT関連	<ul style="list-style-type: none"> 企業DXの取組やIT人材育成の取組に関するデータを活用。 個人・企業の情報をマスクした形で格納。 データ加工などに工数が必要。
5 リスキリング	<ul style="list-style-type: none"> 活用可能な補助金の情報や地域における講座の情報を格納。
6 観光客誘致	<ul style="list-style-type: none"> 観光地情報・交通インフラ情報などを格納。 インバウンド需要は非常に高い。 位置情報などは企業との連携が必要。
7 移住関連施策	<ul style="list-style-type: none"> これまでの移住実績や就業状況、住宅情報などを格納。 個人をマスクすれば単独でデータ充足可能。
8 デジタル通貨普及	<ul style="list-style-type: none"> 最終的な利用先となるサービスの情報などを中心に格納する。
9 公共交通機関関連	<ul style="list-style-type: none"> 観光客誘致と同様に交通情報などを格納。

ディスカッションの結果、比較的データがそろっており全国で先行事例が多い**教育・観光・交通領域**の活用を推進するべきとの意見があった。

ネクストアクションとしては、それぞれの部署に対してニーズの調査を行うことを想定している。

検討したアイデア案を各担当部署に提示してサービスの実現可能性やニーズを確認するのがネクストアクションと認識しております。

活動実績 アプローチ② オープンデータ候補となるカタログ整備

データカタログの整理

オープンデータ一覧																				
No.	部署名	課室名	オープンデータ名	更新周期	更新 タイミング	公開状況	1 既公開（インターネット上）の場合					2 既公開（インターネット以外）の場合		3 未公開の場合	ファイル形式 (複数ファイルある場合は、主なもの最大3つまで選択)			利活用に向けた課題等 (ある場合に記入)	備考	
							公開場所					「その他」の公開場所 (URL等どこに公開しているか分かるレベルで記入)	公開場所 (どこに公開しているか分かるレベルで記入)	インターネットに公開していない理由	非公開の理由					
							長野県統計ステーションなかの	信州くらしのマップ サイト	e-Stat	PLATEAU	その他									
列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13	列14	列15	列16	列17	列18	列19	列20	列21
XX	企画振興部	DX推進課	〇〇統計	1カ月	月初	1 既公開（インターネット上）	1 有	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	1 有	https://xxxxxxx				3 csv			あ	あ
1	教育委員会事務局	県立長野図書館	信州デジタルコモンズ	随時	随時	1 既公開（インターネット上）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	1 有	https://www.ro-da.jp/shinshu-dcommons/ https://jpssearch.jp/				9 その他			DOI(Digital Object Identifier) の付与	
2	教育委員会事務局	県立長野図書館	長野県公共図書館概況	1年	毎年度8月頃	1 既公開（インターネット上）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	1 有	https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/alliance/lib_general.html				2 xls				
3	教育委員会事務局	心の支援課	児童生徒の問題行動等調査・不登校等生徒指導上の課題に関する調査（長野県のみ）	1年	文部科学省公表後	1 既公開（インターネット上）	1 有	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	1 有	https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/mondaikodo.html				1 pdf			調査の主体は文部科学省であるため、取り扱いに注意が必要か	国全体の統計データ(e-Stat)により公表
4	教育委員会事務局	教育政策課	地方教育費調査（長野県分）	1年	毎年3月頃	1 既公開（インターネット上）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	1 有	3 無（今後予定なし）	1 有	https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/02/gyosei/zenpan/takei/kyoiku/index.html				1 pdf				e-Statに国全体の統計データが公表
5	教育委員会事務局	教育政策課	学校納入金調等調査	1年	毎年2月頃	1 既公開（インターネット上）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	1 有	https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/02/gyosei/zenpan/takei/nonyokin/index.html				1 pdf				
6	教育委員会事務局	教育政策課	学校教員統計調査	3年	調査年度翌年3月	1 既公開（インターネット上）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	1 有	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）					3 csv				e-Statに国全体の統計データが公表
7	教育委員会事務局	教育政策課	社会教育調査	3年	調査年度翌年3月	1 既公開（インターネット上）	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）	1 有	3 無（今後予定なし）	3 無（今後予定なし）					3 csv				e-Statに国全体の統計データが公表

■ カタログフォーマットの整理及び各部・課への調査実施

➢ データカタログフォーマットの作成

- ✓ 既に公開されているオープンデータ以外にもデータ保護・技術的な課題・デジタル化されていないなど様々なデータが埋もれているという仮説の元各部署にアンケートを配布し、データの有無を調査した。
- ✓ 全国各地で行われているデータカタログプロジェクトを参考にフォーマットを整備し、各部署にご回答いただいた。

データカタログの整備を継続的に行うことにより各部に潜在的に眠るデータを把握し、データの活用案を積極的に提案することが可能となる。

注力領域仮説例

【教育など全国的にニーズが高い領域の深堀】

教育関連のデータに関しては、比較的充足している・地域のニーズも高いため優先して深堀を行うのが良いのではないかと考えられます。

【食品生活衛生など地域・他県民とのかかわりが強い領域の深堀】

生活・宿泊(観光)など生活に必要なサービスを取り扱っている企業・業者のデータがあるため、そのデータを起点としたサービスの創出が期待できます。

【その他：測量データなど】

測量データなど最新のテクノロジー(AIなど)との組み合わせが期待できるデータに関してはオープンデータ化することで様々な領域への応用が期待できます。

継続的にヒアリング・アンケートを行い新たなデータや眠っているデータを探索することが重要です。

今年度の進捗と今後の作業

ゴール

アイディエーション・各施策の評価結果から、新たにデジタル化するデータを選択し、データを用いたサービスを開発することで県民生活の向上を実現する。

実施

今後の取組み

1

県民ニーズや
業務上の要望に
合わせたデータ活用

頻度：年1回
期間：3ヶ月

2

活用可能なデータを
基にした
アイディエーション

頻度：通年（非定型の活動）
期間：N/A

3

アイデアの
リスト化/評価
技術シーズ仮説/
ビジネスモデル仮説策定

頻度：通年
期間：1ヶ月程度

継続による
ブラッシュアップ

4

アイデアの具体化
技術フィージビリティ/
ビジネスモデル検証

頻度：毎四半期
期間：3ヶ月（×複数ターン）

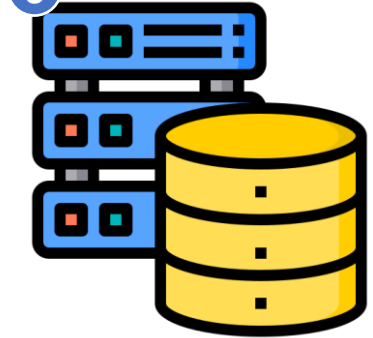
継続による
ブラッシュアップ

5

業務像の確立
出口検討

頻度：毎四半期
期間：都度

6



県民生活向上に資するサービス提供
県のデータ連携基盤への格納・
アプリケーションの構築を行う

今年度は、2つのアプローチによりアイデア検討・評価のための地盤を整理。
来年度以降、他部署を巻き込み検討を進める。

今後の課題・ネクストアクション

今後のアクション

①長野県版データカタログの充足・ヒアリング

✓ リストに載っていないデータ・現時点でデジタル運用が難しいデータ(アンケート・デジタル化されていないデータなど)が存在する可能性があるため、提出されたリストや具体的な活動内容を交えながら活用可能なデータがないか探索を行う。

②継続的なデータ一覧をもとにしたアイデア案創出

✓ 収集したデータリストと課題解決のための施策アイデアをベースに各部署の需要やニーズの収集を行い具体的なデータ活用案を創出する。

③各部署と連携したデータ活用案の創出

✓ 各部署とのディスカッション内容を取り纏め・評価の上優先的に取り組むデータ活用案を決定する。
✓ データ活用案の具体化と並行し、継続的にデータ連携基盤に取り込む仕組み化やデータのフォーマット・アプリケーションの要件などの具体化も進める。

**継続的なリストの更新と活用案の創出により
データ連携基盤の活用機会の創出を目指す**

片桐 新之介氏（株式会社ふるらぶ 代表取締役）

人材募集概要

- コンシューマーマーケティング等のマーケティング戦略に知見を有する方
- クラウドファンディング型ふるさと納税について、専門的な助言ができる方

期待する役割

- 各事業の訴求力向上に向け、個別具体的な助言をいただく
- サイト開設から日が浅く、認知度が低い状況であることから、認知度向上に向けた情報発信の方法等について助言をいただく
- 他自治体の優良事例を紹介いただく

3月までに目指したもの

掲載される各種プロジェクト内容・発信力の改善

- 事業担当課とのヒアリングを通じた各事業の内容改善、発信力の強化
- 「ガチなが」自体の知名度向上



【プロフィール】

東京都文京区出身（曾祖父は長野市松代）。

2001年大学卒業後大阪の百貨店に就職

食品部、経営企画室に従事。その後、奈良県奈良市のまちづくり会社での商店街活性化事業、IT会社などを経て

2019年に株式会社ふるらぶ共同創業、現在代表。

自治体に対してふるさと納税サイトの提供やシティプロモーションの支援、返礼品開発支援、SNS運用支援などのサービスを提供する

長野県立大学フードビジネス概論講師

農山漁村発イノベーションエグゼクティブプランナー

「ガチなが」とは（簡単にご紹介）

長野県直営『共創型』ふるさと納税受付サイト（令和5年4月3日開設）

特徴

寄付金の使い道を、①自分で選び ②県と共に創り ③成果を実感 することができます。

①自分で選ぶ

寄付金の使い道を明示していますので、寄付により事業への共感や応援したい等の想いを形にできます。

②県と共に創る

コメント機能により、事業に対する応援やアイデアなどの投稿が気軽にできます。

③成果を実感する

事業効果を動画や写真等を活用して発信しますので、成果を実感できます。

また、返礼品は原則として提供していません!!

なぜ?

「生まれ育ったふるさとや応援したい地域への貢献」というふるさと納税制度本来の趣旨に沿った運用を図るためです!

ふるさと納税制度 現状の課題

- ・返礼品の人気の寄付先の自治体を選ばれる傾向にある
- ・返礼品代や送料、大手ポータルサイトへの委託料などの事務経費が寄付額の5割近くとなっている

そこで!

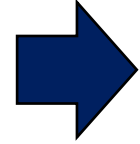
ガチなが を開設!!

返礼品に頼らず、県施策への応援や共感による寄付を募集しています!

活動実績

取組実績

- 広報戦略についての助言
- 各事業の相談、改善に向けた提案



【ガチなが 寄付実績の推移】

項目	R5.7月末	R5.9月末	R5.11月末	R6.1月末	R6.2月末
件数	131	191	266	567	609
金額（千円）	14,633	21,672	67,903	92,954	109,661

ガチなが 広報（税務課）

- ・長野県公式HPの活用
- ・既存SNSの活用
- ・寄附者との関係性強化、囲い込み戦略提案

ライチョウ保護（自然保護課）

- ・県内外の動物園と連携してPR
- ・観光案内所や長野駅へのポスター掲示
- ・SNSの活用例、動画での発信提案

山小屋応援・山岳遭難防止（山岳高原観光課）

- ・山系メディア、登山用品店を活用してのPR
- ・寄付活用成果の発信によるメディア活用
- ・登山計画書提出者へのチラシ配布

信濃の学生応援奨学金（次世代サポート課）

- ・銀行と連携して県内企業へPR
- ・詳細を説明すべきポイントを指摘、明確化
- ・より共感の得やすい写真の活用

信州子どもカフェ応援（次世代サポート課）

- ・子どもカフェ運営者を巻き込んだPR
- ・40代以上の女性をターゲットとしたPR
- ・発信内容の改善

信州型フリースクール推進（次世代サポート課）

- ・発信文章の改善
- ・詳細を説明すべきポイントを指摘、明確化
- ・寄付者を巻き込む企画へのブラッシュアップ

アート的手法を活用した学び（文化政策課）

- ・市民を巻き込む企画へのブラッシュアップ
- ・発信文章の改善
- ・メディア、動画を活用したPR

県立美術館コレクション充実（文化政策課）

- ・美術館リピーターへのPR強化
- ・東山魁夷プロジェクトの別事業化
- ・若手アーティストの発信力活用

スポーツ専門員支援（スポーツ課）

- ・専門員個人に焦点を当てた企画
- ・種目や年代に焦点を当てた企画
- ・寄附者との関係性強化

助言・提案のポイント

①多くの人が注目し、「積極的に支援したくなる」プロジェクトにする

- 寄付者も参加したくなるような内容にする
 - ➔ ライチョウ保護に関わってもらおう
- 寄付者に「寄付して良かった！」と思っただけのような仕掛けづくり
 - ➔ 子どもカフェで支援された子どもや運営者の声が直接伝わるような仕組みづくり

②多くの人に「伝わる」内容、文章にする

- 「伝わる」ためには、発信力が必要
 - ➔ 長野県の既存SNSアカウントなどを活用する（しあわせ信州等）
- 「伝わる」ためには、寄付者目線での文章が必要
 - ➔ 【例：信濃の学生応援奨学金事業「なぜ寄付が必要なのか」伝える文章】
 - ✕ 現在の資金のみでは10年後には、事業を継続できなくなるため寄付をいただきたい。
 - 現在の資金に加え、寄付をいただき、長きにわたって長野県の学生を支援したい。

③官民連携ができそうなプロジェクトへのブラッシュアップ

- 寄付「金」だけでなく、プロボノとして労働力提供というような形の検討
 - ➔ フリースクールの講義など
- 企業版ふるさと納税の仕組みや民間の力を活用した課題解決
 - ➔ 大手百貨店と連携した商品開発プロジェクトの実施（岡山県真庭市）



効果・成果・課題

効果、成果

- 個々の事業に対し「多くの方から共感を得られる内容」とするための具体的な助言をいただき、担当課の事業企画を伴走支援いただいた。
- 「ガチなが」の認知度向上に向けたPR方法や、他自治体の優良事例を提供いただいた。
- 個々の事業に対する助言内容や他自治体の優良事例等を整理し、「事業成功のポイント」として各部局へ共有できた。
- ライチョウ保護や子どもカフェ応援等の新規事業を開始し、寄付実績を伸ばすことができた。（7月末：件数131件 金額14,633千円 → 2月末：件数607件 金額109,661千円）

今後の課題

- 「ガチなが 事業成功のポイント」に沿った事業の企画や情報発信の徹底
➔ 「ガチなが」の取組を拡大するには、手間のかかる丁寧な取組を一つ一つ積み上げていくしかない。
- 「寄付を集める」ではなく「長野県のファンを増やす」という視点に基づいた広報
➔ 広報専門の部署と連携し、長野県の魅力発信と合わせて全庁的な情報発信に取り組む必要がある。
- 「全庁を挙げてふるさと納税に取り組む」ための組織風土醸成
➔ クラウドファンディング型ふるさと納税についての職員研修を実施し、機運の醸成を図る。

オンライン打ち合わせの様子



（3）ポイントを押さえて効果的にPR！

抑えるべきポイントは4つ！

- ①事業関係者を巻き込んで発信！
- ②発信力（影響力・拡散力）の高い個人や団体を活用！
- ③事業の「共感ポイント」を定期的に発信！
- ④SNSを戦略的に活用！

① 事業関係者を巻き込んで発信！

行政だけでなく、寄付受益者を始めとする事業関係者を巻き込んでPRすること

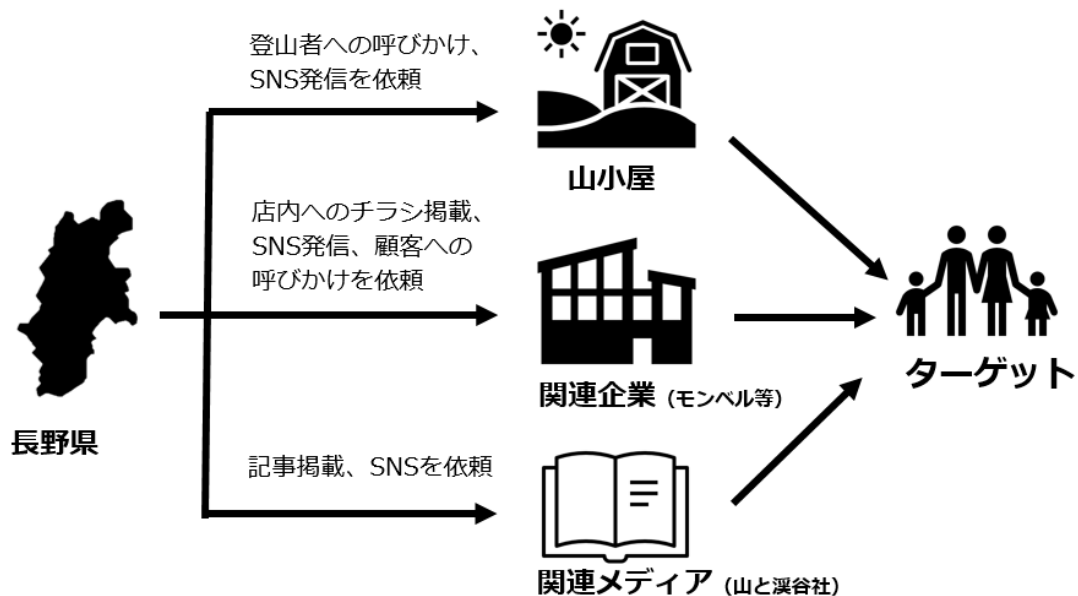
➔ 寄付を多く集めるためには、情報の「拡散」をどれだけ起こせるかが重要。

このためには、事業関係者を巻き込んだPRが必須。

優良事例 1

山小屋応援・山岳遭難防止事業（山岳高原観光課）

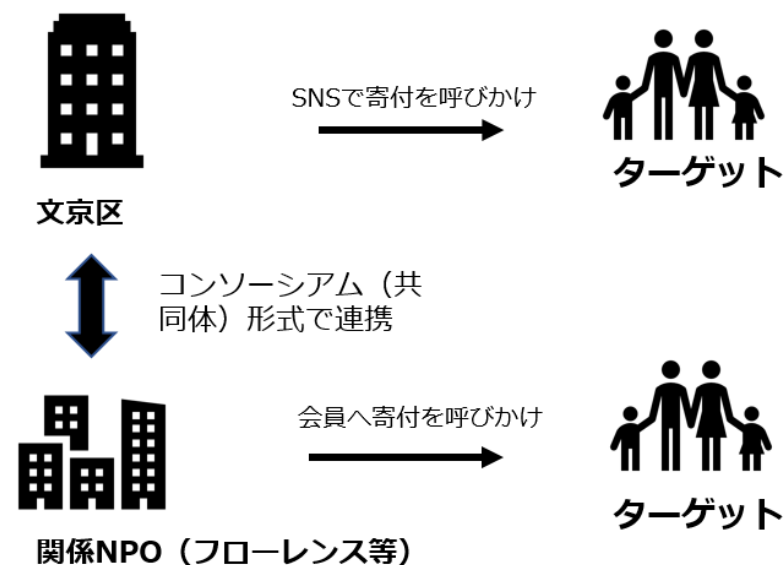
R5 寄付金額：20,063,000円（12月末現在）



優良事例 2

こども宅食事業（東京都文京区）

H29～R4寄付金額：3.8億円（目標額：2.6億円 達成率146%）



信州ブランド戦略パブリシスト【営業局】

鰐淵 涼子 氏 (unbound, LLC 代表 / コミュニケーションディレクター)

人材募集概要

- ブランド構築に関する専門知識や実践経験を持ち、戦略設計や情報発信の具体的手法に関して専門的な助言ができる方
- CIの管理・作成に関わる業務経験を有する方

期待する役割

ブランド戦略の改定に向けた各種サポート

- ① ブランドの構成要素の論理設計、ワーディングを共に考案する
- ② 女性・若者の目線で、この層から共感が得られる表現方法を共に考案する

3月までに目指したもの

新たなブランド戦略骨子の立案と庁内の合意形成

- 検討メンバーMTGの開催、知事レク等の実施
- 委託事業内容の検討、クリエイティブディレクション

【プロフィール】

総合PR代理店において、大手飲食チェーン、食品メーカー、外資系ホテル、商業施設などのPR戦略コンサルティングやメディアコーディネートを手がける。独立後、中小・ベンチャー企業のPR支援、コンテンツ企画、編集、取材ライティングなど活動の幅を広げ、IoTスタートアップのマーケティング PRにも従事。海外や地方を拠点としながら、アウトドアや自然、観光、地域活性などにまつわる企業やブランドのコミュニケーション支援を行っている。専門領域は、PR、ブランディング、クリエイティブディレクションなど。

取組実績

・ブランド戦略検討メンバーMTGの実施（ワークショップのファシリテートを担当）

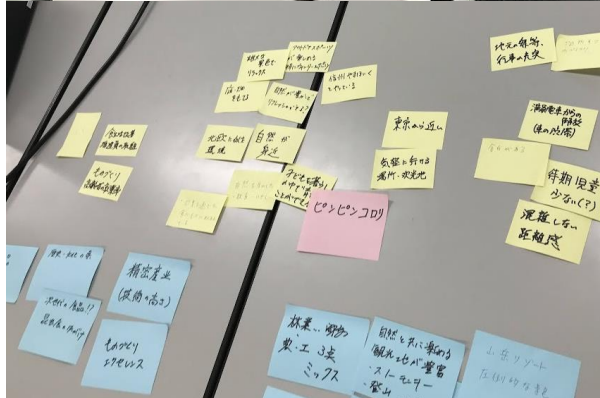


実施例①

しあわせ信州を表現するワードを抽出する

実施例②

ブランド価値をビジュアルとキャッチフレーズで表現する



ワークショップ② Aチーム 4つの要素をキャッチフレーズで表すと？

自然環境との共生

- キャッチフレーズ①
- キャッチフレーズ②

- 五感が喜ぶ自然
- 感覚を研ぎ澄ます
- 解き放たれた
- 呼び覚ます
- 溜みわたる
- 人間の本来の姿に
- 凛とした空気

- (ワークショップ案)
- 清水湧く
- 澄んだ空気
- 暮らしと密接な自然
- ずっと残したい
- 雄大な景色

- ほっとする+安心感
- 感じ、癒される

(参考ワード)

- 山、高原、里、川のある
- 山と一つになれる
- 川の流れるように
- 空気のキレイな
- 深呼吸のできる
- …とのたわむれ
- 飛び込んでいく
- どこまでも続く
- 終わりのない
- カラフルな 色彩のある
- 真っ白な景色の
- キャンパス！
- 手を取り合って
- 天地人
- 緑のじゅうたん
- 人も自然いきものも
- 時間を忘れよう
- 時計を置いていこう

イメージ画像



ワークショップ② Bチーム 4つの要素をキャッチフレーズで表すと？

人と暮らし

- 豊かでゆったりとした暮らし

- 遊び上手な県民
- 遊びの友が集まる国
- 人間味あるあたたかな
- 豊かな暮らし
- 豊かな暮らし

- (ワークショップ案)
- 豊かな時間と空間
- 忙しい中でも豊かな暮らし
- ゆとりある暮らし
- のびのびと暮らす
- スローライフ
- 全国トップクラスの健康長寿

- やすらぎのある暮らし
- いやしのある暮らし
- 余白、余裕
- ゆっくりした時間、空間

イメージ画像



取組実績

ブランド戦略骨子案の検討

- 信州の魅力や価値をビジュアル、キーワード、性格、食などの具体を用いて表現し、信州ブランドの構成要素に対する認識の深化を図った

- 知事、検討メンバー、コピーライター等とのブレスト・意見交換を実施。さまざまな切り口から信州ブランドの構成要素や世界観の表現方法の検討を行った

これからの「しあわせ信州」の構成要素（概念図）



パリュメッセージの方向性①

安心、心地よさ、調和、スローライフ、癒し、丁寧さ、真面目、伝統、GX

自然環境との共生	人と暮らしと生業	歴史と伝統文化	多様性の受容
<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人と癒しあう ・暮らしと共にある自然 ・私も自然になれる ・山の声が聞かないか ・そこに山があるから ・山々で生きる ・自然、澄みわたる ・山々に包まれて ・残したい自然がここにある ・時間を忘れて、深呼吸 ・五感がよるこぶ信州 	<ul style="list-style-type: none"> ・余白のある丁寧な暮らし ・ひとりでも、たくさんでも ・学びたくなる暮らし ・私が描くストーリーの舞台 ・私なりのあるを尽くす ・朝が楽しくなる暮らし ・「おかえり」が聞こえる街 ・確かな暮らし、静かな癒やし ・帰ってきたくなるふるさと ・会いたい人が、ここにいる ・身の丈にあった幸福 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪が来りた理由がある ・良いものは、いつも傍に ・昔から真面目でした ・縄文時代から人々が集う ・大切に伝えてきたこと ・日々、手仕事。時々、AI。 ・150年の歴史を胸に ・訪が来りた歴史がある ・伝統文化が息づく街 ・揺るがぬ伝統、守り抜く ・手仕事の先につながる産業 	<ul style="list-style-type: none"> ・違うから価値がある ・それっていいよね ・いろいろお試しできます ・認め合える、分かち合える ・とりあえず、つながろう ・晴れの日も、雨の日も ・真っ白なキャンパスに描こう ・誰も取り残さない余白がある ・カラフルに生きていく ・選び直せる自由がある ・世代を超えたふれあい

構成要素のワード、ビジュアル、イメージ

自然環境との共生	人と暮らしと生業																																																												
<table border="1"> <tr><td>環境保全</td><td>豊山(自然共生システム)</td><td>避暑地</td><td>注進された山頂リゾート</td><td>3000m級の山々</td><td>陶に磨いていない「真土」</td></tr> <tr><td>清涼</td><td>豊富な水</td><td>多様な地形、土壌、水質</td><td>森林資源</td><td>自然への感謝・畏怖</td><td>大河川・谷</td></tr> <tr><td>美しい</td><td>精製、無添加</td><td>野風</td><td>盆地</td><td>涼しい夏</td><td>森の緑、ピクトグラフ</td></tr> <tr><td>美しい</td><td>洗練された</td><td>海外のような</td><td>雄大な</td><td>長歌される</td><td>持続可能な</td></tr> <tr><td>山菜、きのこ</td><td>高原野菜</td><td>ジビエ</td><td>りんごぶどう</td><td>おさび</td><td>川魚</td></tr> </table>	環境保全	豊山(自然共生システム)	避暑地	注進された山頂リゾート	3000m級の山々	陶に磨いていない「真土」	清涼	豊富な水	多様な地形、土壌、水質	森林資源	自然への感謝・畏怖	大河川・谷	美しい	精製、無添加	野風	盆地	涼しい夏	森の緑、ピクトグラフ	美しい	洗練された	海外のような	雄大な	長歌される	持続可能な	山菜、きのこ	高原野菜	ジビエ	りんごぶどう	おさび	川魚	<table border="1"> <tr><td>勤労・真面目</td><td>学びの風土</td><td>教育熱心</td><td>セカンドライフ</td><td>高齢者活躍</td><td>農ある暮らし</td></tr> <tr><td>健康的</td><td>ウィンタースポーツ</td><td>アウトドア</td><td>丁寧な仕事</td><td>古民家</td><td>生業、趣味を仕事に</td></tr> <tr><td>晴れ晴れ</td><td>クラフト、マルシェ</td><td>起業・開業</td><td>スローライフ</td><td>赤白・ゆとり</td><td>リスケリング</td></tr> <tr><td>シブシブ</td><td>おどろかな</td><td>職人</td><td>丁寧</td><td>創意的な</td><td>健やかな</td></tr> <tr><td>加工食品</td><td>ご飯の友</td><td>パン</td><td>ジャムはちみつ</td><td>ワインシードル</td><td></td></tr> </table>	勤労・真面目	学びの風土	教育熱心	セカンドライフ	高齢者活躍	農ある暮らし	健康的	ウィンタースポーツ	アウトドア	丁寧な仕事	古民家	生業、趣味を仕事に	晴れ晴れ	クラフト、マルシェ	起業・開業	スローライフ	赤白・ゆとり	リスケリング	シブシブ	おどろかな	職人	丁寧	創意的な	健やかな	加工食品	ご飯の友	パン	ジャムはちみつ	ワインシードル	
環境保全	豊山(自然共生システム)	避暑地	注進された山頂リゾート	3000m級の山々	陶に磨いていない「真土」																																																								
清涼	豊富な水	多様な地形、土壌、水質	森林資源	自然への感謝・畏怖	大河川・谷																																																								
美しい	精製、無添加	野風	盆地	涼しい夏	森の緑、ピクトグラフ																																																								
美しい	洗練された	海外のような	雄大な	長歌される	持続可能な																																																								
山菜、きのこ	高原野菜	ジビエ	りんごぶどう	おさび	川魚																																																								
勤労・真面目	学びの風土	教育熱心	セカンドライフ	高齢者活躍	農ある暮らし																																																								
健康的	ウィンタースポーツ	アウトドア	丁寧な仕事	古民家	生業、趣味を仕事に																																																								
晴れ晴れ	クラフト、マルシェ	起業・開業	スローライフ	赤白・ゆとり	リスケリング																																																								
シブシブ	おどろかな	職人	丁寧	創意的な	健やかな																																																								
加工食品	ご飯の友	パン	ジャムはちみつ	ワインシードル																																																									

構成要素のワード、ビジュアル、イメージ

歴史と伝統文化	多様性の受容																																																												
<table border="1"> <tr><td>伝統文化</td><td>冬季オリンピック</td><td>製菓業</td><td>ものづくり</td><td>風流語り</td><td>クラフトショップ</td></tr> <tr><td>戸隠、御嶽、奥州</td><td>山岳信仰</td><td>文化交流</td><td>伝統工芸</td><td>産地</td><td>民芸品・調度品</td></tr> <tr><td>温泉街</td><td>地域愛・土着愛</td><td>善光寺 興隆社</td><td>アイデンティティ</td><td>寛政倉庫 倉庫</td><td>先人の知恵</td></tr> <tr><td>品格ある</td><td>数百年ある</td><td>選りすぐり</td><td>確かな</td><td>質実剛健</td><td>田舎風</td></tr> <tr><td>信州そば</td><td>干し柿</td><td>信州味噌</td><td>高野豆腐</td><td>おさび</td><td>野沢菜</td></tr> </table>	伝統文化	冬季オリンピック	製菓業	ものづくり	風流語り	クラフトショップ	戸隠、御嶽、奥州	山岳信仰	文化交流	伝統工芸	産地	民芸品・調度品	温泉街	地域愛・土着愛	善光寺 興隆社	アイデンティティ	寛政倉庫 倉庫	先人の知恵	品格ある	数百年ある	選りすぐり	確かな	質実剛健	田舎風	信州そば	干し柿	信州味噌	高野豆腐	おさび	野沢菜	<table border="1"> <tr><td>起業・スタートアップ</td><td>移住者コミュニティ</td><td>ものづくり精神</td><td>二拠点多拠点</td><td>ゼロカーボンアクション</td><td>インバウンド</td></tr> <tr><td>インタラクティブ</td><td>外国人移住者</td><td>グローバル化</td><td>SDGs</td><td>77市町村</td><td>先端技術、DX</td></tr> <tr><td>気候変動</td><td>ヴァーガン</td><td>自己実現</td><td>女性活躍</td><td>子育て支援</td><td>官民一体</td></tr> <tr><td>品格ある</td><td>数百年ある</td><td>選りすぐり</td><td>確かな</td><td>質実剛健</td><td>田舎風</td></tr> <tr><td>信州そば</td><td>干し柿</td><td>信州味噌</td><td>高野豆腐</td><td>おさび</td><td>野沢菜</td></tr> </table>	起業・スタートアップ	移住者コミュニティ	ものづくり精神	二拠点多拠点	ゼロカーボンアクション	インバウンド	インタラクティブ	外国人移住者	グローバル化	SDGs	77市町村	先端技術、DX	気候変動	ヴァーガン	自己実現	女性活躍	子育て支援	官民一体	品格ある	数百年ある	選りすぐり	確かな	質実剛健	田舎風	信州そば	干し柿	信州味噌	高野豆腐	おさび	野沢菜
伝統文化	冬季オリンピック	製菓業	ものづくり	風流語り	クラフトショップ																																																								
戸隠、御嶽、奥州	山岳信仰	文化交流	伝統工芸	産地	民芸品・調度品																																																								
温泉街	地域愛・土着愛	善光寺 興隆社	アイデンティティ	寛政倉庫 倉庫	先人の知恵																																																								
品格ある	数百年ある	選りすぐり	確かな	質実剛健	田舎風																																																								
信州そば	干し柿	信州味噌	高野豆腐	おさび	野沢菜																																																								
起業・スタートアップ	移住者コミュニティ	ものづくり精神	二拠点多拠点	ゼロカーボンアクション	インバウンド																																																								
インタラクティブ	外国人移住者	グローバル化	SDGs	77市町村	先端技術、DX																																																								
気候変動	ヴァーガン	自己実現	女性活躍	子育て支援	官民一体																																																								
品格ある	数百年ある	選りすぐり	確かな	質実剛健	田舎風																																																								
信州そば	干し柿	信州味噌	高野豆腐	おさび	野沢菜																																																								

取組実績

委託事業者に対する クリエイティブディレクション

- 専門的知見で、委託事業者の制作物に対するクリエイティブチェックを実施
- 県（発注）サイド、制作者（クリエイティブ）サイド、連携パートナー（企業、市町村）の視点で、伝えやすく、共感できるコピーやビジュアルの制作をディレクション

恵み多き豊かな自然

これからも、自然とともに。

神々しく聳え、寄り添うように佇む山々。
凜とした空気を纏い、清らかな水を湛え、
美しさ、おいしさ、心地よさ、
たくさんの恵みで、人を豊かにしてくれます。

個性際立つ多彩な風土

地域の個性、あふれだす。

南北に長く、峰々で隔てられた県土。
盆地や谷合の地形や気候を活かした
独特の風土と文化は、今も暮らしに息づき、
このさまざまな個性が信州をかたちづくります。

勤勉で長寿な人々

よく学び、よく働き、よく生きる。

よりよく生きるため、
学びの機会を大事にし、真面目に働く信州人。
その思いが産業に発展をもたらし、
全国有数の長寿を実現しています。

新たな価値を生む交流

新しい価値と新しい自分に出会う。

関東、関西、北陸を結ぶ交通の要衝として、
古くより多くの人々が集ってきた信州。
そのつながりは、全国、世界へと広がり、
新しい価値観やチャレンジが生まれています。

タグライン（案）

しあわせ  信州

山々が育む、すこやかな国

多くの人々を魅了し、日々の暮らしに寄り添う山々。
凜とした空気、清冽な水は、信州の恵みの源泉。

山の恵みを授かる信州の人々は、この美しくも厳しい環境の中で
よりよく生きようと、よく学び、よく働いていきました。

連なる峰々は、盆地や谷合ごとの生活圏を生み出し、
それぞれの歴史を紡ぎ、個性ある風土と文化が育まれています。

山を目指し、山の恵みを求め、山を越えていくために生まれた人々の交流は、
これからも、新しい価値観やチャレンジを生み出し続けるでしょう。

山々が育む「すこやかさ」が信州の「しあわせ」をかたちづいています。

（案）



効果・成果・課題

効果、成果

- 発信者・制作者という立場だけでなく、受信者の立場・目線からのアドバイスが、各種検討や議論において非常に有効であった。
- 鵜呑みにしてしまいがちな委託事業者の提案を同レベルの知識を持ってチェックし、専門的な視点での指摘やディレクションをしていただくことができた。
- 資料作成へのアドバイスだけでなく、原案作成などにも率先して取り組んでいただき、事務担当者の負担がかなり軽減された。

課題

- より多くの人々の共感を得るには、分かりやすく伝えられるかが重要。
- どのように浸透を図るか、今後しっかり検討する必要がある。

信州ブランドの4つの「コアバリュー」

恵み多き豊かな自然

勤勉で長寿な人々

個性際立つ多彩な風土

新たな価値を生む交流

しあわせ  信州

山々が育む、すこやかな国